



平成24年11月9日

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田辺 順一  
( J A S D A Q ・ コード 6625 )

問合せ先

役 職・氏 名 取締役管理本部長 大浦 隆文  
電 話 050-5536-9824

## 特別利益の発生及び平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年9月14日に公表しました平成25年3月期第2四半期累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の発生について

##### (1) 事業譲渡益（連結）

平成24年9月に株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）が、東北タツミ株式会社に対して電子機器用部品事業の一部譲渡（杭州佳路克電子有限公司並びに JALCO ELECTRONICS HONGKONG LIMITED のジャルコ保有出資持分の譲渡を含む）を行ったことに関連して、事業譲渡期日における譲渡対象資産の簿価に基づき譲渡損失40百万円を計上するとともに、上記在外子会社譲渡に伴う為替換算調整勘定取崩益81百万円を計上いたしました。外貨建取引等の会計処理に関する実務指針によりますと当該為替換算調整勘定取崩益は、事業譲渡損益に包括して表示されることとなりますので、事業譲渡益41百万円を特別利益として計上いたしました。

ただし、当該為替換算調整勘定は、プラス81百万円で計上されており、純資産の金額を増加させていましたが、譲渡完了に伴いそのプラス分が除外され、純資産の金額を81百万円減少させることとなります。一方、上記のとおり、為替換算調整勘定の取り崩しは会計上特別利益として計上され、当期純利益として利益剰余金を増加させ、純資産の金額を81百万円増加させますので、「純資産の部」の中で、両者は相殺されることとなります。従いまして、当該為替換算調整勘定取崩益81百万円は、純資産の増減への影響はありません。

2. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異  
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	923	△110	△136	△281	△27 円 61 銭
今回実績値 (B)	914	△108	△143	△178	△17 円 56 銭
増減額 (B－A)	△ 9	2	△ 7	103	—
増減率 (%)	△0.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計期間)	1,142	△262	△310	△308	△43 円 79 銭

<修正理由>

連結売上高は、前回予想を 9 百万円下回り 9 億 14 百万円、連結営業損失は、前回予想を 2 百万円上回り 1 億 8 百万円、連結経常損失は前回予想を 7 百万円下回り 1 億 43 百万円となりました。

連結当期純損失は、前回予想を 1 億 3 百万円上回り 1 億 78 百万円となりました。これは主に、平成 24 年 9 月にジャルコが、東北タツミ株式会社に対して電子機器用部品事業の一部譲渡（杭州佳路克電子有限公司並びに JALCO ELECTRONICS HONGKONG LIMITED のジャルコ保有出資持分を含む）を行ったことに伴い、前回予想においては事業譲渡損 50 百万円を特別損失として見込んでいたのに対して、「1. 特別利益の発生について」に記載しましたとおり事業譲渡益 41 百万円を特別利益として計上したことなどによるものであります。

3. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想の修正  
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,300	40	△45	△220	△21 円 62 銭
今回修正予想 (B)	4,300	40	△45	△140	△13 円 76 銭
増減額 (B－A)	—	—	—	80	—
増減率 (%)	0%	0%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	1,890	△534	△571	△686	△91 円 22 銭

<修正理由>

通期の連結売上高、連結営業損益、連結経常損益につきましては、前回予想から変更はありません。

連結当期純損益は、前回予想を 80 百万円上回り 1 億 40 百万円の損失となる見込みです。これは主に、「1. 特別利益の発生」に記載のとおり、電子機器用部品事業の一部譲渡に伴う在外子会社譲渡により為替換算調整勘定取崩益 81 百万円が発生したことによるものであります。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご理解ください。

以 上